

7月定例教育委員会会議録

1 日 時	令和6年7月18日（木）午後5時30分から午後7時00分まで
2 会 場	磐田市役所西庁舎3階特別会議室
3 出席者	山本敏治教育長、鈴木好美委員、秋元富敏委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員
4 出席職員	鈴木壮一郎教育部長、鈴木雅樹教育総務課長、大學裕学校づくり整備課長、石田和代学校給食課長、森下昌司学校教育課長、天野敏之放課後活動課長、伊東直久中央図書館長、神谷英雄文化財課長、清水大輔幼稚園保育園課長、稲垣美千代福祉政策課長

(傍聴人0人)

(進行委員：鈴木好美委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

改めましてこんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

小中学校においては、1学期も残りわずかとなりました。昨年、国連のグテーレス事務総長が、地球温暖化よりも深刻な状況を意味する言葉として、「地球沸騰化」という表現をして注目されましたが、今年も昨年と同様かそれ以上の暑さを感じる日々が続いています。そのような中、昨年度から各学校には、登下校中において、帽子だけでなく日傘やクールネック等の使用や適切な水分補給等々、各家庭と連携をしてそれぞれの発達段階に応じた熱中症対策をお願いしてまいりました。登校は集団登校の小学校がほとんどであり、同じ時間帯に登校してくるため、多くの人の目が行き届いていますが、下校時は、基本的には集団下校ではなく、学年ごとに下校するため、どうしても一人になってしまうことがあります。特に小学校低学年児童については大変心配をしております。先日の定例校長会でも、例えば、下校の途中で水分補給ができるよう、下校時に水筒の中身を確認するような声掛けをしてほしい旨などをお願いしたところです。今年度は、「磐田市立小中学校の通学の在り方検討会」を新たに設け、このことについても検討を始めたところです。子どもたちの安心、安全な通学の在り方について、知恵を絞っていきたくと考えています。

次に、令和8年4月の開校を目指して準備を進めている向陽学府小中一体校ですが、旧校舎の解体工事も無事終了し、7月21日に新校舎建設工事の起工式を執り行う運びとなりました。この間、ハードだけではなくソフトの部分についても開校準備委員会において、新しくできる小学校の校名や校歌、校章を検討したり、各校の教務主任を中心に開校後のカリキュラムの内容を話し合ったりするなど、開校に向けて準備を進めてきています。また、保護者や地域の皆様方からご心配の声をいただいております通学の在り方についても、関係の皆様方と連絡調整を図りながら鋭意検討を進めているところです。この件についても、通学の在り方検討委員会において検討を進めてまいりますが、保護者や地域の皆様方には、できるだけ早くその方向性をお示しするとともに、地域、保護者の皆様とともに子どもたちの安全安心な登下校の在り方について対話を深めていきたいと考えています。

最後に、もう1点報告をさせていただきます。

去る7月12日に三遠南信教育サミットが蒲郡市であり、参加をさせていただきました。具体的な内容については、本日の次第のその他のところでご報告させていただきますが、講演や事例発表において、大変参考になるお話を伺うことができました。来年度は、本市での開催となりますが、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

教育委員及び関係部課長の皆様におかれましては、総合教育会議に引き続いての会議となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

3 前回議事録の承認

6月4日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○5月議会について、議案第56号から58号で、向陽学府小中一体校の建設、電気設備、給排水衛生設備工事の契約締結の議案を上程いたしました。また、工事業者の指名停止措置により契約を取消し、再入札を行った空気調和設備の議案を追加上程いたしまして、7月11日に議決をいただきました。委員会において質問をいただいた中で、交通安全対策のため、バスの乗降場や駐車場の確保、幹線道路の交差点付近の安全対策のための土地の取得を進めるという回答をいたしました。後ほど学校づくり整備課長から詳しく説明があると思います。補正予算については、主にデジタル田園都市国家構想交付金の算定基準と、単独調理場等の学校給食調理員の派遣についての質問をいただきました。一般質問につきましては配付した資料に掲載しましたので、御覧いただければと思います。

<質疑・意見>

■一般質問の中で、一人一台配布されているタブレット端末の破損で、1件保護者負担での修理となったとの回答がありますが、どのような事例でしたか。

□友達との遊びの中で天板を傷つけてしまった事例があり、故意であったということで保護者からの理解を得て、修理しました。

■生徒がインターネットを利用する際に発生した問題として、なりすまし事案があったとありますが、どのような状況でしたか。

□姉妹間でのなりすまし事案でした。

5 議事

・議案第43号 令和6年度磐田の教育について

○本年度の教育施策の詳細をまとめ、策定しましたので、議案として提出いたします。今回の主な変更点ですが、新規の事業で、静岡ブルーレヴズホストゲーム中学生一斉観戦や、地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」の運営の項目を新たに追加しております。今後は、9月議会前に正副議長に説明させていただいた後、市議会議員や関係部署へ配付させていただく予定です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第43号は原案どおり承認された。

・議案第44号 令和6年8月1日付人事異動（教育委員会関係）について

○調理士2名の異動です。田原小学校の民間委託に伴って、人事異動の必要があったものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第44号は原案どおり承認された。

・議案第45号 令和6年度向陽学府小中一体校空調設備の工事請負契約の締結について

○先ほど教育部長から説明があったとおり、業者の不祥事による再入札が無事に済みまして、契約の締結と議決まで進みましたので、事後になり申し訳ありませんが報告をさせていただきます。契約の金額につきましては5億5,770万円、契約の相手方は株式会社エクノスワタナベ西部営業所です。こ

の業者は市内の大きな工事にも参画いただいております、磐田病院等の建築工事等にも関わっている大変信用の高い業者ですので御安心いただきたいと思います。

建築、電気設備、給排水衛生設備と合わせた、令和7年度までの建築費の総額は52億7,800万円です。今後変更等もあるかと思いますが、収まるように工事を進めていきたいと思っています。なお、これとは別に開校後に準備をする工事もありますので、向陽学府小中一体校の整備費についてはもう少し上乗せがあります。おおよそこのくらいと御承知おき願えればと思います。

<質疑・意見>

■物価や人件費の高騰で、値段がかなり上がっているのではないかと前から心配していますが、何か仕様をダウンさせなくてはいけないなど、どのように進められていますか。

□建設費の高騰対策については、物価スライド条項という契約になっていまして、世の中の物価が上がったからすぐに上げるということにはなりません。業者から、これだけの物価上昇率なのでこの部材についてこのくらい上げてくださいというものを提出いただいて、それを協議して妥当と認めたものについて、追加するという仕組みになっています。今のところ、そのような申請はないものですから、業者さんも先々を見越した中でやってくださっているという判断をしていますが、今後もしそのような申請が上がった場合には応じるつもりではある状況です。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第45号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 自治デザイン課

<質疑・意見>

なし

(2) スポーツのまち推進課

<質疑・意見>

なし

(3) 文化振興課

<質疑・意見>

なし

(4) 福祉政策課

・磐田市人権教育推進協議会委員の委嘱又は任命について

○磐田市人権教育推進協議会要綱第1条の規定に基づき設置する磐田市人権教育推進協議会は、12名で組織しています。委員の任期は、令和5年8月1日から令和7年7月31日までの2年間です。今回、人事異動や役職交代等のため交代する委員を、8月1日付けで委嘱及び任命をいたします。なお、新規の委員については、別紙委員名簿の備考欄に「新任」と記載をした4名の方です。

<質疑・意見>

なし

(5) 幼稚園保育園課

○園再編に関する保護者との意見交換会を、向笠幼稚園、大藤こども園、長野幼稚園、磐田南幼稚園の4園で行いました。園児数の減少や園舎の老朽化が進んでいる園は他にもありますが、この4園は園舎が最も古い区分にあり、学府内に同様の園があるため、統合や再築についてのご意見をいただきたく開催したものです。今後は、今回いただいたご意見を基に方針を検討していきたいと考えています。

<質疑・意見>

なし

(6) 教育総務課

<質疑・意見>

なし

(7) 学校づくり整備課

○豊田北部小学校旧校舎の解体工事説明会を7月2日に行い、あわせて特別支援学校について県の担当者から概要を御説明いただきました。地域の方の参加は11名で、県に対する要望がほとんどでしたが、これからの課題については、地域からの要望の調整に尽きると思います。県は特別支援学校の子どもたちを中心とした建設計画になりますので、それ以外のところで市として何かしら支えられるところがあれば、今後対応していく予定です。

それともう1点、豊田北部小学校の解体工事が始まる前に、地域の方に校舎を開放して写真を撮っていただいたり、最後のお別れをしていただいたりする機会を学校づくり整備課主催で設けようと考えており、7月27日の午前中を開放する予定にしています。思った以上に地域の方からの問合せが入ってきておりまして、やってよかったねと言ってもらえるようにしたいと思っています。

また、向陽学府小中一体校の保護者相談会を7月11日から3日間、大藤、向笠、岩田の3交流センターで行いました。交流センターに学校づくり整備課の担当職員が出向いて、どなたでも御心配事があれば御相談くださいという形で初めて実施しましたが、毎日10名前後の方がお見えになっている御意見をいただきました。やはり通学に対しての御不安というのが、どの交流センターからも共通して上がっていて、その中でも幼稚園から小学校に上がったばかりの子に坂道をというところが1番のメインだったようです。そういった御意見も伺いながら、この先の通学バスのルート設定だとか、通学の在り方という中で、きちんとした形で決めていきたいと思っています。

それから、今事務局から資料をお渡しさせていただきましたが、向陽学府の一体校を整備するにあたって、この先地域の課題を解決するためにはどうしたらいいのかを、着任以来3か月、部長共々検討してきました。まずは、向陽学府の学校敷地が置かれている現状を分析していく中で、実際に歩いたり車で回ったりしましたが、現状のまま今までの3倍の人数を受け入れるには安全が担保できないだろうということが結論です。これに対応するためには、道路を拡幅できれば1番早いでしょうけれども、民家が道路に沿って建っているようなところですので、なかなか難しいという判断です。それであれば敷地を拡張して、学校へ向かってきた方を一旦この中で吸収できないだろうかという考え方で、駐車場を設置するという方向で、今検討を進め始めたところです。どのくらいの面積が必要か、その地権者の方が譲ってくれるかどうか等の検討はこれからになりますので、まだ状況は変わる可能性があります。まずはスペースを広げることで、子どもたちが安全に学校に入ってくれるということを最優先にして、敷地を検討していきたいと思っていますので、御了解いただきたいと思います。例えば市道の朝の渋滞をできるだけ緩和してあげるだとか、子どもたちが信号待ちをしているときに、少し広いたまり場にしておいて、車が突っ込んでこないような対策をしてあげるだとか、いろいろな形で活用が想定をされますので、そういったことも含めて、市にはこういう形でこれまでの方針を転換してやっていきたいということで説明をさせていただいているところです。まだまだこれからの話ですので、この資料も今日は回収をさせていただきます。こういった動きがあるということをまず皆さんには、御承知おきいただきたいという説明です。

○若干補足します。豊田北部小学校の後の特別支援学校ですが、地域からは磐田の子どもたちがみんな行けるよねという声が出ています。磐田市としては、袋井特別支援学校がいっぱい、そこに行っている130人近くいる子どもたちをカバーして、しっかりと特別支援教育を提供できる環境をつくってもらいたいということで県に要望を上げているため、袋井特別支援学校に行っている子どもたちが全部新しいところに来るということは県は考えていません。しかしながら勝手に、磐田の子は全員そこに行くという声が出ていますので、改めてオフィシャルな場で申し上げると、子どもたちの特別支援教育を受ける環境を良くするために、豊田北部小学校に特別支援学校をつくる。そのためにはやはり、例えば磐田の袋井寄りのお子様については、今のまま袋井特別支援学校に行っていたくこ

とも想定されます。一方、浜松の東地区に誘致をしようか、磐田の地に誘致をしようかということで県に秤にかけられたところから推察すれば、浜松の東側のお子様たちも新しい特別支援学校に来るといことも、当然県は考えていると思っていますから、そこのところだけ、オフィシャルな場で改めて説明をさせていただきます。

<質疑・意見>

○本当に買収できれば相当使えると思いますが、かなりお金もかかるのではないかと思います。

□今このままだと駐車台数は300台です。

■親御さんが直接この駐車場に連れてくることも想定していますか。

□そうです。現状分析すると、この暑さの中で子どもさんたちに長い距離を歩かせるのに不安がある方がいて、雨の時は今送り迎えがほとんどです。そうなったときに、何も対策を講じずに令和8年4月に開校したら、雨の日にここに何百台という車が集結します。そのときに停車する場所がないと当然事故の懸念もあるし、大渋滞が起きます。そうなると、すぐ対策を求めてくるのはもう見えているため、子どもたちの安全対策のために、多過ぎるかもしれないが、まずここにそれだけの台数をキープして安全確保したいというのが、先ほど説明した内容です。保護者の方に御負担になるけれども、御心配の方は駐車場が担保してありますからどうぞというお声掛けをしなくてはいけない、切り替えのタイミングがこの開校になるのではないかと思います。

■バスも想定しているのですよね。

□はい。全員が車になってしまう可能性もある中でバスを8台用意しますが、運転手を確保できない状況です。竜洋西小がプールのためにBGにバスで行っていますが、その担保もできない状況で、この8台のバス運行はもしかしたらできないかもしれないです。そういうことを想定すると、300台が740人の定員に対して、多いか少ないかという議論になります。

■バスの運転士は何人くらいなら手配できそうですか。

□バス会社と話をすると、日勤のバス運行であれば確保できる可能性はあるとのことでした。

○南側に抜ける道路ができなかった場合、北側の西から東に入る道は今細くて、そこも拡幅すると思いますが、かなりここは渋滞するし使いにくいところなので、よほどちゃんと設計してもらわないと、渋滞と事故があると思います。

□道路自体は7メートルに拡幅をします。問題は今おっしゃったように、市道からの間口を広げない限り、子どもたちが歩いたり、自転車も通ったりするルート上になりますので、相当の安全対策をしないとまずいと思います。あとはそこで仮に7メートルの道路に入れた場合でも、そこから先は古墳がくっついていて、なかなか思うように道路をつくれないうちがあるのち、学校の敷地の中を抜く道路をつくるという想定もしながら、今対策を考えています。

■今も通勤などでいろいろな車両が走っていますよね。

□今はダンプカーなども多いので、そこで子どもたちを乗り降りさせることができないですし、今のままだとバスは北側には入れないです。

□本当に一刻も早くバスの運行ルートを地域の皆さんにお示しをしたいのですが、まずここを片付けないと、なかなかバスのお話に入っていけないので、実現に向けて皆さんに御協力をお願いしている段階です。

(8) 学校給食課

○第1回磐田市立学校給食運営委員会を開催し、令和5年度の決算及び今年度の予算について、今年度の栄養の摂取基準、献立計画についてご承認いただきました。ご意見をいただいたことでもありますので、今後の参考にしていきたいと考えています。

もう1点、新聞やテレビで報道がありましたので、すでにご案内かと思いますが、先日、JA遠州中央農協から無償でライオンメロンをいただきましたので、長野小、竜洋東小、竜洋北小の3校の児童の給食で提供しました。当日は生産農家に学校を訪問していただき、3年生に食育の授業として温室メロンについて説明していただきました。来年も提供していただけるといことなので、市内の学校に順番に提供したいと考えています。

<質疑・意見>

■浜松市の給食で、調味料の瓶の破片が混入していたという報道がありました。磐田市でも同様のことが起こる可能性はありますか。

□瓶にしか入っていない調味料もあり、確認したところ磐田市でも使っていました。もちろん、瓶を落としてしまった場合にはそれは使えないため、混入することは絶対ないですし、もしそこに釜があり、そこに入るといった可能性が考えられた場合、その釜はやめることもあります。改めて注意喚起はしました。

(9) 学校教育課

○いえたん磐田について、先日市長の定例記者会見を受けての新聞記事、そして教育長の動画等々が出されている中で、大変脚光を浴びています。そのような中で、今回モデル地区である豊岡地区にお住まいの保護者の方から、大変すばらしい事業をスタートしてくれたという声があつて、ありがたいと思っています。また、昨日広島市から問合せがありまして、ぜひいろいろ教えていただきたいというような話もあつて、これから注目度がさらに高まっていくと思っています。県内からも問合せがあるので、次回かその次に何か良い報告ができるといいと思っています。

<質疑・意見>

■いえたん磐田の教育長の動画で、リーフレットを配布するという話がありましたので、我々にもどのような内容なのかということで見せていただければと思います。

また、実施済事業の探究的な学び研修会について、磐田市で開発中の「デジタル3D教材」とありますが、どのような内容か教えてください。

□市内12か所の事業所や文化財施設を3D動画で撮りまして、そこに「はてなマーク」をつけて、子どもたちがこれって何だろうという疑問を持つような仕組みをつくって、そこからさらに子どもたちが自分にとっての学びを深めていくような仕組みあるいは仕掛けをして、それを総合的な学習の時間に利用しながら、探究的な学びを深めていこうという取組です。

(10) 放課後活動課

○月例報告で2点追加をさせていただきます。1点目は、児童クラブの民間委託に関して、7月5日にクラブの利用者の方々に民間委託の説明通知をさせていただき、7月16日から4ブロックの各ブロックで、夏休みのクラブ利用の部分に含め、民間委託の保護者向けの説明会を開催しているところです。もう1点が実施予定のところですが、8月6日に中学校長を対象にした部活動地域移行に関する意見交換会を開催することにしました。

・夏休み児童クラブの運営について

○今年度は夏休み増設9クラブのうち4クラブが民間委託をするクラブで、1クラブ1社でお願いをしていきますが、今年度は昼食提供の試験導入に向けて準備を進めています。

・磐田市放課後児童クラブの民間委託（令和7年度実施）について

○民間委託の受託候補事業者等を具体的に記載をさせていただきました。ここの事業者と今年度の準備委託契約を締結しまして、令和7年4月スタートに向けた準備の業務を進めております。予定しているサービスの拡充内容については、令和7年の4月の民間委託からの実施となります。

・令和6年度磐田市部活動地域移行推進協議会委員の委嘱・任命について

○これまでこの組織は、学校部活動運営協議会という形で、要領を定めた中で開催をしてきましたが、今年度要綱に改正をして、名称も磐田市部活動地域移行推進協議会に変更をしたものです。メンバーについては変更がありますが、予定者、今年度予定している会議日程については資料のとおりです。

・磐田市中学校部活動外部指導者の委嘱（追加）について

○磐田市中学校部活動外部指導者が1名追加になります。

・令和6年度SPO☆CUL IWATA活動状況について

○現在までのSPO☆CUL IWATAの活動状況を各クラブ別にまとめております。スポカル磐田空手クラブの準備が整ったということで、今月募集を開始、8月から活動開始となりました。

<質疑・意見>

■児童クラブの民間委託で昼食を今年から試験的に出されるということですが、委託費はいくらくら

いですか。

□夏休みに関わる委託と3月までの準備委託は分けているため、具体的な額はまだ出ていません。

■夏休みの定員はいっぱいですか。

□枠は希望者数を受け入れられるくらいまではありますが、実際には子どもたちや保護者が、通常自分が通っているところのクラブを選択するというので、どうしても増設してもそこに入らないということがあり、40数名くらいの待機状態が生まれている現状があります。保護者の方々が利用をやめるケースもあるため、少し変動があります。

夏休みだけとか通年とかいろいろな問題が実際にはあって、利用者数は増えているというところは変わりなく、待機児童対策はやはり大きな課題になっているというのが現状です。

■SPO☆CUL IWATAの地域クラブは、今申請中のクラブも含めて、元々母体があるところとゼロからのスタートするところではどちらが多いですか。

□傾向としては母体があるところが現実的になっています。特に今年度からスタートできたところは、ある程度母体があったところと捉えていただければと思います。

一方で、剣道や空手など、協会、連盟の組織が比較的機能しているところについては、単独のクラブのみならず、協会、連盟の動きもうまく重なっているところが特徴的だと思っています。剣道の場合は中学校4校に剣道部がありますので、4校の学校部活はしばらく動かしながら、残りの6校の子を対象にまずクラブで受けて、徐々に結合させていこうというような動きもある中、連盟や道場側の理解もあってスポカルのクラブが誕生してきているという経緯もあります。先ほど御説明した空手も同じくそうでして、すごく望ましいことですが、市内にあるそれぞれのクラブと、その流派の方々が一致団結することで、1つのスポカルのクラブをつくり、継続性を求める子、あるいは新規に空手をやる子についてはスポカルのクラブで受けながら、その子の今後の上達や競技志向が強くなれば、道場のクラブでやれるような、そういった連携が非常にとられ、各道場やクラブが相互に連携をしようとまとまった点では非常にありがたいケースです。ただ、繰り返しですが、大方はやはりまず母体があるところが中心に動いてきているというのが現状だと思っています。

(11) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(12) 文化財課

○今後実施予定の第1回磐田の歴史自由研究コンクールは、今回初めて企画をしたものになります。実施日の8月29日から9月3日は学校に提出する期間です。通常自由研究は理科研究の方が多いかと思いますが、磐田の子どもたちに歴史文化に興味を持ってもらいたい、社会関係の自由研究をやってもらいたいということで今回初めて企画したものです。対象は小学校5、6年生で、各学校にはチラシを配布させていただきましたが、皆さんの周りに5、6年生の方がいらっしゃれば、御紹介いただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。

<質疑・意見>

■磐田の歴史自由研究コンクールは、なぜ5、6年生だけを対象にしたのですか。

□興味のある子で低学年の子どももいますから、もしそういう子が応募してくればそれはそれで受け付けるというところではありますが、学校の授業の中で歴史に触り始める時期の子たちの方がまずは取りかかりやすいかなというところと、文化財課としても初めての企画で実際の応募状況もどれぐらいになるか分からないため、まずは5、6年生対象で、次年度以降また状況を見て、いろいろ検討していきたいと考えているところです。

■実施予定事業のインターンシップは、どのような人たちが来るのですか。

□市役所で受入れている大学生を文化財課でも受入れるもので、文化財課の事業というよりは市役所本体の事業です。

■文化財の勉強をしている子を受入れるわけではなく、普通の市役所に勤めたい子が来るのですか。

□もちろん考古学をやっている子たちも入ってきますが、いろいろです。

□どの仕事を学びたいか希望を取ると、スポーツなどの人気があって偏るので、分散して引受けていただいて、大体1課に2人や3人、2日から長くて1週間ぐらい来てもらって、学校によってはそれで単位が取得できる学校もあります。30~40人は市役所に来ています。

■先ほど学校教育課のデジタル3D教材の話で、埋蔵文化財センターも入っていますが、陳列を変えた後の撮影になっていますか。

□はい。新しくした後の撮影です。

7 協議事項

8 その他

・「第28回三遠南信教育サミット」参加報告

○研修はどれも勉強になるものばかりで、竹島水族館の館長さんの話はすごく引き込まれました。ないことを強みに思って生かすというのは楽しかったのと、人にとって自分にはないものは自分にあるけど人にもないものというふうに、得意なことを伸ばしていくという促しを水族館の中でもしている。人としてもそうだなと思うことが多かったです。

交流会では天龍村の教育長さんと隣になって、特にSPO☆CUL IWATAの話を知ることができました。それと、磐田市には来年行くけれどおいしいものは何かと聞かれて、料理ではないですが、海老芋やチンゲン菜がありますというようなお話をしてきました。

また、袋井市のおいしい給食推進係という係の名前も面白いと思いましたが、食習慣の基礎は10歳前後でつくられてしまう、食習慣さえよければ健康寿命は伸びるとというような、健康教育も含めてやはり給食は大事だと言われていたのが印象的でした。

○蒲郡のとてすてきなホテルの宴会場での開催で、ロケーションがとても良かったです。

新城市の教育長が、とにかく学校に行くのにもわくわくする、明日も学校に行きたいという、遊ぶという時間をすごく大事にする学校づくりをされていて、遊びに行きたいから学校行きたい、から始まって興味を持ってもらうというお話がありました。保幼こ小の連携のときもそういった話がありますが、遊びたいということでもとりあえず学校に行きたいと思ってもらえる、わくわくする学校づくりが良かったです。

袋井市の地産地消の話では、農家さんに言ってタマネギなどを作ってもらうところからやっているということも聞きました。なるべく多くの袋井市産を入れる努力をなさっているのだと思いますし、タマネギの全部ではなくてもそのうちの30%くらいが袋井市産であれば、袋井市産のものも入っていますと言っているということで、子どもたちに地元を誇りを持ってもらうことの一つだと思って楽しく聞かせていただきました。

○竹島水族館の話では、来場者数が最低で年間12万人にまで下がり日々貸切り状態だったものを、今47万人に増やしたということで、職員一人一人のやる気を出させたということをしていました。

交流会では袋井市のおいしい給食課の方から話を聞きましたが、学校給食法を全部まず読んでいろいろ勉強したという話や、イベントごとの給食を作っていること、ご自分も体を壊した経験から、給食の在り方とか子どもたちに健康的な給食を提供することを勉強したそうで、熱量があつていろいろな講演会に行かれていますということで、また話を聞いてみたいと思いました。

○全て良かったです。やはり竹島水族館の館長さんの話と新城市の教育長さんの話は、確かにそうだなと思いつつ聞かせていただきました。

竹島水族館の館長さんが言われた、日本の中でも小さく古い水族館で足りないところばかりだけれど、弱みを強みに変えることを、必死になってみんなで考えたということがすばらしいと思いました。なかなか弱みを強みに変えると言っても簡単ではないので諦めがちですが、一つ一つ丁寧に取り組んでいったということだと思います。いろいろなアイデアを皆さんで出し合っているところを見習わなくてはいけないと思いつつ聞きました。

新城市の教育長さんのお話は、子どもは顔に答えが書いてあって、顔を見れば当然分かる、遊びが大好きであるという内容でしたが、磐田市でも探究的な学びを教育長が言われていて、今かなり力を入れて取り組んでいる話で同じことだと思います。子どもが生き生きとして取り組めるような、アプ

ローチは違いますけれども、そういうことかなと思いました。その中で、35人学級ではなくて、10人、20人学級という言葉が出てきていて、そのとおりだと思いました。費用の話はありますが、子どもたちの学びを深めるためにはやはりもう一步進んだ少人数学級も必要なのではないかと感じました。

○竹島水族館の館長さんのお話では、竹島水族館には全然人が入ってこなくて、古くて小さくてとにかく弱点があって、鳥羽水族館と比較されると全然だったそうです。例えばアシカショーをやるにしても、アシカが嫌がって前にも出てこない、お客さんが見に来て、アシカが出てこないじゃないかという話になってしまって、どうしたらいいか困ったけれども、そのアシカにショーをやらせるのではなくて、身近に持ってきて触れ合いをさせるように、人前ではなかなかできないけれど、少し近くへ来て触ることはできるので、そのようにアシカの活用の仕方を変えたら、そこがすごくヒットして、本当に観客の皆さんが喜んでくれたということでした。動物たちをどうやったら強みに変えられるかという発想の転換、当たり前ショーをさせるのが水族館だという発想から、その動物の強みをうまく生かすことで魅力発信にもつなげることができたというお話で、意識をどう変えていくか、視点を変えるとか、今までの当たり前が当たり前ではないというような、どういうふうに転換させていくのかというところで、なるほどなど自分の中にストンと落ちたところです。それと、「違うやつこそが全体に変化を与え進化をもたらす」とのことで、みんな一緒になくても、そろえる教育から伸ばす教育ということを今自分もいろいろなところで訴えています。違うところがもしかしたらヒントになるし、もしかしたら活性化につながるということは、教育の中にも指導の中にも学校経営とかいろいろの中にもつながると思い、たくさんヒントをいただきました。

飯田市は不登校のお話で、校長OBの方を雇用して中間教室をやっている、学校の雰囲気とは少し違った環境設定をしているという話を聞いて、磐田市もあれをやりたいと思いながら見させてもらいました。ただ、交流会のときに飯田市の教育長さんと話をすると、やはり学校はどうしても教室に戻したいというオーラが出てしまうので、子どもたちがなかなか寄り付かない学校も中にはあるということで、とにかくその在り方を啓発していくしかないというところで意気投合しました。

いろいろ参考になりましたし、来年どういう構成にするかといいかと今考えていますので、講師でこの方はという方がもしいらっしゃれば、アプローチをしていけるといいと思っています。掛塚のお囃子は内諾を取っていて、場所は磐田グランドホテルでやります。いろいろなところに寄ってから来る団体もあるようなので、皆さんに喜んでもらえるような、例えば埋蔵文化財センターとか赤松家とか旧見付学校とか、少し磐田を見てもらうというPRも含めて、無料で入れるところもあってもいいのかなという気はしているので、また皆さんのアイデアをいただきながらと思っています。予算にも関わってきますので、早めに構想を立てていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

・ホームページの並びについて

○教育委員会のホームページの新着情報の下の教育施策情報の上から3つ目が、令和3年度小学校入学説明会で時系列的に正しくないのと、並び順を変えた方が良くと思います。

○ありがとうございます。何とか見える化してPRしていきたいと思うので検討いたします。

9 次回の開催予定

・臨時教育委員会

日時：令和6年7月23日（火） 午前9時00分から

会場：市役所西庁舎3階 教育長室

・定例教育委員会

日時：令和6年8月27日（火） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会